

# 発見！まちのグルメ

『丼ぶり屋 幸丼』大井 1-42-7 シルバーハイツ 101

大井三つ又中通りにある**丼ぶり屋 幸丼**大井町三つ又店は席が3席しかない小さなお店ですが、とても美味しい丼ぶりが食べられます。幸丼は元々一めん屋 幸龍のチャーシューが好評でそれを丼ぶりにしたお店です。



メニューは**幸丼バラ**、**豚玉丼**、**あぶり鶏皮丼**(各 690 円)**黒丼**(650 円)の4種類です。

中でも人気なのが**幸丼バラ**です。あぶったチャーシューをご飯にのせた丼ぶり、チャーシューは箸で切って食べることができるくらい柔らかかったです。

**豚玉丼**はチャーシューをほぐした丼ぶり、**あぶり鶏皮丼**は鶏皮をあぶった丼ぶり、**黒丼**はカレーの丼ぶりです。スパイシーで辛口です。



幸丼の丼ぶりは1度で2度、美味しい丼ぶりです。3分の1くらいご飯とチャーシューを残して出汁をかけて食べる「**スープ割り**(お茶漬け)」にする事ができます。黒丼以外の幸丼バラ、豚玉丼、鶏皮丼でスープ割りができます。丼ぶりには全てみそ汁がつきます。丼ぶりはテイクアウトも出来ますが、スープ割りはテイクアウトが出来ないので、お店に行って食べてみてはいかがでしょうか。【柳沼、小俣】



## 【営業時間】

ランチ: 11:00~14:45  
ディナー: 17:30~23:30 (21:30 日曜)  
定休日: 月曜日

イラスト応募要項は「品川区スクランブル」で検索してね!



スポーツの秋、食欲の秋…そして芸術の秋！ \(\hat{o}\)/  
小中学生の皆さん、この秋にスクランブルにイラストを投稿してみませんか？ 身近なモノ、思い出、想像のキャラクター…+個性溢れる作品待ってます♪【五十嵐】

## イラスト

スクランブル  
つぶる

子どもがピカピカの一年生だった頃

ね♪  
母 … 鉛筆は何て数えるの？  
子ども … 一本、二本！  
母 … じゃあ、鳥は？  
子ども … 一羽、二羽！  
母 … じゃあ、お馬さんは？  
子ども … えーっと…  
母 … ちよっと難しいかな？  
子ども … わかった！一着、二着！  
母 … 〇〇

【吉田】

# 知ってみ隊が行く〜!

## 大井囃子 (おおいばやし)

10月15・16日に、鹿島神社の大祭が行われます。期間中、境内で演奏されるのが**大井囃子**。その調べを耳にしたことのある人も多いのではないかと思います。今回は、その活動の一端をご紹介します。

活動の中心は、**鹿島神社の祭礼** (大祭、中祭など)での演奏ですが、様々なイベントでの演奏もあるそう、7月16日(土)に滝王子児童センターで行われた「サマーサマーフェスタ2016」にも出演。練習を見学していたからか、より一層、調べの美しさに感じ入っていました。



**大井囃子**は、江戸時代に始められた五人囃子(大太鼓1人、小太鼓2人、鉦1人、笛1人の5人)です。昭和36年に結成された「**大井囃子保存会**」によって、その伝統が引き継がれ、昭和60年には、品川区の無形民俗文化財に指定されました。

保存会の副会長・山崎誠二さんによると、現在の会員は大人・子ども合わせて50名弱とのことです。



練習用丸太

練習は、ほぼ毎週、木曜日の午後7時半ころから、滝王子児童センター内で行われています。おじやました日は太鼓の練習だけだったのでありますが、大きい音が出てしまわないよう、丸太に車のタイヤの一部を被せたものを使いタイヤの部分で太鼓に見立てて練習をしていました。

大井囃子は、そもそも譜面があるものではないので、山崎さんが、「**地言**」と言って「テンツクツク」「テステスケテン」など、たたき方を表す言葉を発しながらリードし、これを聞きながら子どもたちが練習をしていました。はたから見ていると、それほど難しくないので、・・・と思えたのですが、休憩時間実際にたたいてみると、どうしてどうして、聞いていたような音は全く出ないし、強弱をつけるのもとても難しい。山崎さんによると、やはり**ばち**の持ち方ひとつから、秘訣があるとのこと。伝統の技の奥深さを、少しだけですが感じられた瞬間でした。山崎さんによると、大事なのはリズム感。微妙な速さの変化、間の取り方が

## 鹿島神社の祭礼

昭和初期には、7月にニンジン祭りといく「江戸三大奉納相撲」となる奉納相撲が行なわれ、三千人を超す盛況ぶりでした。「鹿島神社の本となる神輿」として建造された「宮本大神輿」は戦後、人々の参加が減少し、昭和30年には渡御を中断する事になりました。しかし昭和48年フジテレビ主催の第三回「日本の祭り」に参加、宮本大神輿が見事入賞、地元でも復活を望む声が高まり神輿渡御を再開、現在は交通事情などにより10月第三の土日に鹿島神社大祭として行われるようになりました。

【梶山・平林：角矢】